

数学の問題を解くための国語(その2)

2022.6.13(月)

「数学用国語」では何(教材)を学ぶべきか

数学の問題を解くのに、国語の読解力が役に立つというのはわかりました。問題は、それでは、「数学用の読解学習」って、何(教材)を使って、どのように学習したらいいか、ということです。

名門校の入試問題を学べ

一言で言えば、入試問題を学習するのがベストである、ということです。たとえば、私立名門校の入試問題は、その学校が生徒に身につけて欲しい学力を調べるために、1年間かけて選んだ文章であり、設問であるからです。

数学の問題を解くのに役立つ問題を選ぶ

実は、この名門校の入試問題だけを集めた読解用の問題集というのがあります。この中から、数学の問題を解くのに役立つと思える「論説文」「説明文」「随筆文」を抜粋し、10.5ポイント活字でA4版1~2ページ程度の分量の問題を選んで学習させます。

解きっぱなしにしない学習法

これも「学力化学習法」で指導しますので、全問を正解できるまでくり返し解かせます。「まちがいました→直しました」ではなく、答案を作るときには、文章のどの部分を見て答えを作ったかなど、答案の根拠を示して解答させますから、その根拠が正しかったのかどうかを検証させます。自分の考えが正しいと思ったら先生との討論になります。



いずれにしても、思考は言葉なくして不可能ですから、読解問題を解くことは、考える基礎訓練になります。数学のみならず、あらゆる教科の土台となる能力です。だから、国語の成績が上がると、他の教科の成績も上がるということはよく見られる現象です。

数学用国語指導の数専ゼミの数学教室です

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: (023)633-1086 / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp